

(注) 個人情報等は、一部表記を修正等行っております。

| 番号 | 参加日 | ご意見・ご感想等 |
|----|--------|--|
| 1 | 未記入 | 私は、「阪神大震災」年に発表した「中杉通り景観街づくり」委員会の委員の1人でした。私達の街づくり構想は、3本柱で誰でも楽に生きられる福祉の街づくり。緑を守り、ふやしていく街づくり。にぎわいのある街づくり。の3つです。私達以前の阿佐谷の街づくりから「中杉通りのけやき並木、××の森(けやき屋しき)は阿佐ヶ谷の象徴として守り、そだてよう」という意識は強かったと思います。 それが今回の阿佐ヶ谷北東街づくり構想で、説明会が行われている最中からけやき屋しきの緑がどんどん切られ、あっという間に無くなってしまった事はショックも大きく、前区長も都市整備部もその部下もゆるせません。何回かの説明会でも第一回以外は全員が反対あるいは区のやり方に不信感を表明しても、質問には全く答えず、同じ言葉をくり返すばかりでした。 今回の「阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりを振り返る会」でも、ほとんどの人が「第一小学校の移転には反対」と意見をのべています。 ぜひ××の森(けやき屋しき)と同等の森を河北病院のあと地に復活させて下さい。第一小学校は今のまま、今の場所に残してください。 |
| 2 | 10月19日 | 杉一小跡地、けやき屋敷跡地、病院跡地、児童館跡地、すべて含めて錦糸町駅前、錦糸公園のようにしませんか？病院跡地に杉一小移転、けやき屋敷跡地に総合病院及び地権者の為の複合施設(共同住宅、病院)、杉一小跡地にはアリーナ(室内競技場)全体的に緑豊かな公園にしましょう |
| 3 | 10月19日 | 【イラスト】 上記のような計画に変更しましょう ×××× ×××××××一級建築士事務所 代表取締役×××× |
| 4 | 10月19日 | (杉一小跡地のみ)公園にしませんか？錦糸町駅前、錦糸公園のようなアリーナ(室内競技場)を付随した(1/2公園、1/2アリーナ) ×××× ×××××××一級建築士事務所 代表取締役×××× |
| 5 | 10月19日 | まず、けやき屋敷撤去、そこに複合施設(住宅？、病院<タワー>)建設、次に病院撤去、そこに杉一小移転、最後に杉一小跡地にアリーナ(室内競技場)及びひろば(公園)、全体的に公園とする。けやき公園跡地に商工会、児童館及び、区民センターの複合施設 ×××× ×××××××一級建築士事務所 代表取締役×××× |
| 6 | 10月19日 | 「振り返る会」という言い方に、私も異和感を持ちました。 |
| 7 | 10月19日 | ・区の計画、にぎわい、学校建て替えに <u>グリーン</u> の視点をとり入れて下さい。もっと明示的に、もっとハッキリ、大胆に。 ・移転について、仮校舎は子どもに不自由を強いるという発言があり、現在神明中学校の校舎建替えて不安を感じている。私(保護者)としては非常に不快で不安で悲しい発言でした。A案へのネガティブな発言が区職員から出されたのは反対答弁として多く出たのが不思議でした。区の方は言い方をコロコロ変えるんだなァ…と辛い気持ちで一杯です。 ・住民は区長選挙、区議会議員選挙を経て、パワーアップして、勉強して、団結しています。個別にその場で適当にごまかせていた頃とはちがっています。各地、各地域で地域を最も知る、最も頑張っている人々がつながっていく、協力して総合知を集めています。一部の意見ではありません。 ・区職員の方々が意識を変えて、考え方を抜本的に転換して欲しいです。住民は応援しています。 ・区長ばかりに詰めよるのは一部の住民(参加者)で、多くの人々は区長のリーダーシップ、この会に感謝しています。良い会だと思います。継続して悩んでいきたいです。 |
| 8 | 10月19日 | 「振り返る会」の名称→「見直す会」「検証する会」が正しいので変えるべき。会場、日時、告知の不十分さなど区民が参加しづらい会となっている。10月22日で終わりとすべきではなく、再度説明会を開くべきで、それまでの間に事業を勝手に進行しないでもらいたい。区側は自分たちの計画を変更、修正する気は一切なく、それを正当化するために都合のよい資料のみを提示している。浸水対策、騒音(校庭の使用に伴う近隣住民への被害)対策について、具体的かつ十分ではない。換地についての実際の数字が出ていない状況で意見交換をしても、財政上の議論としては机上の空論であり、現時点で計画を決定済のものとして進めることは、区民意見を無視したことに等しい。杉一小跡地にどのような物が建つかわからない、という前提で、そのために杉一小を移転するとしか思えない計画については、賛成も反対も考えることは不可能。見直すべきではないか。 みどりの保全について、具体的な対策の追加、問題点(日影)についての再検討がない。真剣なテーマとして扱われていないと思う。地主側と協議して、区民が納得できる案を新たに作り直すことが求められる。現在地に小学校機能を残し、公共性の高い建物を作るべきではないか。現河北病院跡地は緑地、グラウンドにしたらどうか。 |
| 9 | 10月19日 | 本日の質疑応答でも発言がありましたが、阿佐ヶ谷駅北東まちづくりに関する公開Meeting(振り返る会)が区民の単なるガス抜きに終わらないよう願うばかりです。 最低限A街区の開発については、区民が納得できるプロセスを踏んで欲しい。阿佐谷の個性を損なうような開発だけは絶対にやめてください。 阿佐谷在住64年 男性 |
| 10 | 10月19日 | 今のやり方を続けても対話をしたことにならない。 |

意見シート提出意見

| | | |
|----|--------|---|
| 11 | 10月19日 | <p>「子どものためにどういう学校、杉並第一小学校になったら良いのか」という視点に立って、区も改築を進めて欲しい。</p> <p>区長は行政側の責任者であり、最終的な判断者なので、司会にはふさわしくない。次回は、別の人を司会にたててください。たとえば8月31日に司会された方は、区民の意志をよくくんで、区側と定めた方針を訂正してまで対応されたので、あの方々にお願いできるなら、お願いしたい。</p> <p>また、昨夜も区からの一方的な回答を「一度だけ」受ける場にすぎず、双方が納得するまで対話するに至っていない。従って1つのテーマごとに（例えば昨日資料のQ1～9など）話し尽くしたら次に移項するという進め方にして欲しい。ともかく、区と区民は敵対者ではなく共働者であることを忘れないように！</p> |
| 12 | 10月19日 | 区説明の浸水についてのパワポが見えにくかった。すぐ消されたし、HPに即UPしてほしい。河北から出ている新病院の日影図もUPしてほしい。 |
| 13 | 10月19日 | LOGOフォームを出したが1000字なので全然足りなかった。しかも一行で1000字表示されているので書きにくいし、コピペで貼って1000字overと表示されたのをカットするために読み直すのはさらに困難だ。DXというならもっとちゃんとしてほしい。阿佐ヶ谷のことを書く前に会の運用のまずさを指摘していたら、アンケートが埋まってしまうが、まちづくりのことは今後の会の継続で。 |
| 14 | 10月19日 | <p>この説明会は何のためにあるのでしょうか。単に区の計画を説明するだけなら意味はほとんどないでしょう。地域住民の多くは、この計画に反対しています。その声がこの説明会における意見、質問です。これに対する区の返答は何ら理由になっていません。数分の質問時間では意見を言うのは難しい。もう少しふみ込んだ質疑応答の機会を設けていただきたい。住民の本当の声を反映させた区政にして下さい。反対理由には合理性があります。配布資料を見ると、これまでの区民の質問に答えた形になっていますか。その理由はほとんど根拠のない内容です。初めに結論があって、適当に理由付けしたものです。何故小学校を改築するのに移転するのか、全く理由がありません。さらに本計画のプロセスが不透明です。一部の者の意見を聞いて、民主的に推進しているかのようになっていますか。最も利害関係のある地域の人々の意見(商店、住民)が反映された形跡がありません。病院跡地と小学校跡地の交換価格が不明です。最も重要な部分で大きな疑問を残しています。これに対し区はプライバシーを根拠に情報開示を拒んでいます、公共の大事な財産を処分するのにプライバシーの問題はありません。何を根拠に開示しないのか、明確な回答がありません。違法なプロセスです。単に説明の機会を作ったという、実績作りのためのものではなく、計画の推行に影響のあり得る住民の声を聴く機会を設けてもらいたい。議会の委員だけが民主主義ではない。重要案件については、直接民意を問うべきです。</p> |
| 15 | 10月22日 | 10.19に比べれば「対話」の気運が感じられた。冷静に時間をかけて議論を行うような進捗を更に考えてほしい。テーマ別に複数人が発言できるようなプロセス・形式など。一人ずつ前面に出て発言することはびびってしまう人もいて。地主さんや河北さんは大きな存在であり地域住民が意見するのはリスク。移転案の校庭の図面、現地建て替えの場合の図面、費用の大きな計算(項目だけでもよい)など資料が必要。区側の案だけでなく、広く区民の案もつって叩き台を作り直す必要がある。(公募を行うべき)例えば杉一小現地に半官半民の建物を作り、学校、産商会館、地権者施設の複合施設を入れ、河北病院跡地に校庭と防災公園を兼ねた土地を作るなど。他にもアイデアはあると思うので、意見交換会の形で集約していく機会を担保すべきである。緑の保全に関して話す時間がなかったので、専門家を招いて再度検討する会を開いてもらいたい。 |
| 16 | 10月22日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 区長でない職員をファシリテーター/司会として次回以降は置いて下さい。職員の方に研修を受講したり、色々な場面で経験を積んでいただけて下さい。 ・ 区民の願い 価値の転換の4年にしたい。 <p>これまで正当に評価されてこなかった価値(田中区政で見過ごされてきた価値)みどり、環境、ケア、多様性を大切にしたい。これこそが“にぎわい”をとり戻す力になります。目に見えるもの金に換算されるものの限界がコロナ禍を経て明らかになったと思います。子どもや未来を犠牲にしても作りたい“にぎわい”などはどこにもありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区職員の方々への質問 <p>① どうやって区政のよって立つ価値の転換をはかってゆくののでしょうか。アイデアや意気込みを示して下さい。</p> <p>② “にぎわい”と“みどり”の定義を明らかにして下さい。</p> <p>…変化をおそれず、ふり返り、歩みを進め、間違ったことは立ち止まり、皆で考え直したいです。大文字のリーダーシップで区長/区が独断で「総合的に判断」したりせず、皆で悩みたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ “100年先を考えたプロジェクト”のための価値、前提、ゼロカーボンシティ、気候変動、ケアと多様性とグリーンをま正面からまっすぐ、じん速に取り組んでゆきましょう。そのための取組を杉一小からはじめましょう。文書の中のP9“重大な違法行為”とかP21の“大きな負担”など明らかでないことに対する<u>替し文句</u>のような単語が並んでいて恫喝と考えます。修正して下さい。 <p>※騒音は救急時のサイレンと子どもの声はちがいます。深刻な問題です。根拠を示していないです。子どもやコミュニティは失われてしまうと二度と戻せません。質的な価値も計測できますので明らかにしてほしいです。</p> |
| 17 | 10月22日 | やはり、一度立ち止まってほしいです。区民がわざわざ何度も説明会に足を運んでいるのです。受けとめて、区民が本当に納得する形をお願いします。杉並区が住み心地の良い住環境は、区民の声を元に進めてほしいです。 |
| 18 | 10月22日 | 「振り返る会」という名称をやめて下さい。阿佐谷のことはもう決まっている、住民の声は反映できないよときこえます。 |
| 19 | 10月22日 | 全く中立の立場で参加した一般の市民です。双方(区側、参加者)の意見、説明、回答は、各々納得できる場所もあれば、できないところもありました。ただ、岸本さんが区長でなければ、こういう貴重な機会をもうけていただけなかったろうことは確かです。不愉快、理不尽、ルール無視の参加者も多く、前区長の尻拭いをしている岸本区長には負けないでほしいです。ただ、河北病院跡地を公園に変更し、小学校を現在の場所で建て替えたなら“杉並の奇跡”と讃えられると思います。頑張れ、岸本区長！！ |
| 20 | 10月22日 | 区役所の方の説明に説得力ゼロと感じました。Cに移転ありきかと思いきや、未だに移転後の新校舎のイメージもなく、Aの利用法も決まっていないう事で、ハチャメチャだと思いました。そもその決定方法もQ&Aの6頁の5/15で決定と(しかも数名で)おっしゃっていましたが、余りにも不透明で納得いきません。白紙に戻すのが一番ですが、そうもいかない場合でも少しでも住民が納得できるような案に修正は必須だと思います。 |

| | | |
|----|-----|---|
| 21 | 未記入 | <p>開催・運営に御尽力頂いた、区長以下職員の皆様、ご苦労様でした。以下感想等述べます。</p> <p>1. 進行 相変わらずのバタバタ。「平等」の名のもとに、時間制限、「ガス抜き」姿勢が消えない。これまでも申し上げたとおり、本件は、大規模・複雑多岐な事業で、区民の生命財産を脅かすという重大案件にも拘わらず、確たる説明もなく、長年住民の声をないがしろにしてきた。長引くのは当たり前である。時間が必要である。 ※区は事の本質を理解していない、又は理解していても何らかの理由で立ち戻れないので、堂々巡りになっている。</p> <p>(1)事前に、「振り返る会」は「直列型」(問答型、意見交換型)に、とお願いしたが、これさえも受け入れられなかった。無茶な要望であったのか?どこかで握り潰された? (2)当日の質問対象が、当該資料(*)に関するもののように扱われているが、予め知らされていたか?もし、そうであっても、前述のように、長年溜まり溜まっているので、これだけでは適切ではない。(継続性) *下記、2-(1)「…意見と回答」</p> <p>(3)当会(10/22)冒頭、参加者に「感情を抑えて…」と呼びかけたが、区の回答が余りにいい加減なので、当人が声を荒げてしまった。申し訳ない。区の進め方、区の回答に「理」がないので、「なるほど」とならず、皆発熱してしまう。 (4)私は3回(8/31、10/19、10/22)とも質問が出来ず、或いは時間切れとされてしまった。別途の場で継続するべきではないか? 〔提案〕①区の姿勢…逃げ、躲しではなく、誠意をもって当たられたい。 ②重要な課題については、理解必要。「直列型」即ち、意見交換型にしていただきたい。 ③時間制限(打ち切り)を排し、終了しない時は、継続開催とされたい。 ④区長等多忙なら、オンライン又はメール交換も考慮されたい。 ⑤場合によっては、「知りたい」「言いたい」方々と「議論し合いたい」方々と、場を二分されたい。 ⑥お互いに前向きで、真摯に議論したい。</p> <p>2. 資料 (1)区配布の「阿佐ヶ谷駅北東まちづくりに関する主な意見と回答」(10月19日・22日)この資料の位置付けは? 8/31での質問意見に限定しているのは、問題である。 ①その日、参加できなかった者、時間カットで質問できなかった者(私も)がいる。不公平・不公正である。 ②資料には、見た目に、当日質問以外も入っている。作為か? ③「主なもの」の定義な何か? 区の峻別判断が適切かどうか、疑わしい。 ④質問が複数括られている。質疑模様として応接議事録とすべきは自明である。 ※これに対し「区のHP」にある、とのこと。どこで案内してあったのか? 例えそうであっても、NET使えないものがある、見る暇がなかった者がいる。これのための会なら、席上配布は社会常識である。 ⑤長文、小説的で理解しきれない。形容詞は無用。理に合わない内容が多い。 (2)区の資料とは思えない配布があった。大変大きな問題である。善処方申し入れる。 ①文責標記がない。区か? ②区の主宰会で、第三者が配布すれば、参加者に区の資料と誤解を与える。又は区のお墨付き資料とみなしてしまう。 ③参加者には、賛成派もいる。対立を煽るのは、「公」がやってはならない。 ④会場で、特定の第三者が配布可能なら、他の者にも機会を与えるべきであった。 ⑤組織だろうが、個人だろうが、特定の者に加担してはならない。自明の理。</p> <p>3. 各論 聞き取りにくかったこともあり、妥当でない点があれば、ご容赦いただきたい。(順不同) ①屋上校庭。何故ダメ? A案で採用したのでは?…用、議論。 ②震災救援所。「リスク管理した」との回答。それを見せたい。 ③桃園川(?)。説明の口径(?)で、何故安全なのか? 理由を説明願いたい。 ④「低いのが何故悪いか」(学校整備課長)と聞こえた。重大問題である。聞き違いでなければ、議論させていただきたい。 ⑤参加者から「区長が答える」との声。その理がないなら取り合う必要はない。 ⑥「」 「緑地どうなっているのか」に対して「具体的にはない」と聞こえた。これも別途議論させていただきたい。 ⑦区長「就任前のことは変えられない」と聞こえた。大きな、有ってはならない認識違いである。組織は継続性あり。前任者の所業と謂えど、現職者に類が及ぶ。嘗て私見を述べさせていただいたが、①当初計画に重大な瑕疵があれば、②当初計画時に無かった外部条件に大きな変化があれば、…「改めるに憚ること勿れ」。否、「改めねばならない」。ましてや、生命財産に関わる。 ⑧「情報不足を反省」(席上資料p3)とある。そんな軽い話か? そもそも情報は、素人ながら、沢山提供してきた。これも「お為ごかし」「逃げ」の手口であり、今更、である。大きな問題。そもそも、「正確かつ十分な情報が公開、共有されてこなかった…」とは、正に、区が諸問題を把握・理解してこなかったことを証明している。真の問題は何か? ⑨「にぎわい」話にならない。これも重大な問題で、別途、議論必要。 ⑩小学校の移転理由、「より良い環境の確保」「狭い」本当にそうだろうか、命を危機に晒してもやるべきことか? そもそもA案では認めていた何故? ⑪参加者から「小学校の魅力を」「紙に書いて」とあったが、大いに疑問。別途協議したい。そもそも「魅力」を作るのではなく、「魅力」は作られるもの。つまり。人それぞれ価値観が異なる。感受性も違う。「魅力」は各人が「感じるもの」。自ら「掴むもの」。 ※個人的な話であるが、杉一卒業70年。今でも級友と付き合っている。先生のこと思い出す。質問者は「ハードウェア」を目しているようだが、大事はソフトウェアである。ハードウェアである。ハード主体だと、大失敗である。やってはならない。もとより、教育環境として見なければならぬ。ましてや公立。ハード競争で欲望を満たすことは否。住時、物不足、何も無かったが今でも、十分愛着を持っている。 『教育は“量”より“質” “物”より“心”』</p> |
|----|-----|---|

| | | |
|----|--------|---|
| 22 | 10月22日 | <p>10月22日の会について意見を申し上げます。</p> <p>初めに、8月31日の会を踏まえ今回丁寧に配布資料を作って頂きありがとうございました。項目ごとに質問と回答がまとめられわかりやすくなりました。会の運営は残念ながら8月31日同様、反対を楽しむかおよような一部の参加者の意見が続き途中退出しました。</p> <p>資料から、区は初めからC街区が浸水地域内にあること、土壌が汚染されていることを知りながら小学校移築を決めたことを改めて確認することができました。</p> <p>8月31日の配布資料に浸水対策の校舎施工例が載っていました。浸水対策として2階以上を教室として使うようになっていきます。これは校舎としては異常です。もし杉並区の8割が浸水地域であるならこの対策もやむを得ないでしょう。でもすぐ隣に安全な土地がありました。小学校は無理な対策を行う必要のない安全な土地に移築されるべきです。</p> <p>病院跡地の有害物質は完全に除去できるのか、それはどうやって確認し安全が保障されるのか。かさ上げした校庭は地震発生時に流動化しないのか、水とともに有害物質が上がることはないのか。日常的に子どもたちに健康被害が出る恐れはないのか、心配です。</p> <p>教育委員会、保健所、育成委員会から反対意見はなかったのでしょうか。</p> <p>前区長が、子ども達の安全を無視して、病院、地権者と与し「個人共同施工」の協定を締結したのは本当に残念です。</p> <p>資料の最後を読んで、区がこの事業を今の計画のまま進めたいことがわかりました。「振り返る会」も住民に説明をしましたという経過の一つになるのでしょうか。この間にも、「けやき屋敷」は広範囲に深く掘り下げられ病院建設が進められています。しかし杉並第一小学校の移築は今の案に固執せず、子ども達を守るために全く他の方法を検討することはできないでしょうか。</p> <p>区が「個人共同施工」の施行者のために絞った知恵を今度は子ども達のために使って安全な土地に小学校を移築できることを願っています。</p> |
| 23 | 10月22日 | <p>杉一小、平成29年春先の打ち合わせで突然、区役所職員より杉一が河北病院の跡地に移転すると報告された。</p> <p>晴天の霹靂で驚くほかなかった。なかには「茶番」だと言って席を立った人もいた。本件20名ぐらいの関係者(×××××)を集めて説明会を開いていた旨後付けされているが、周辺の一般住民は全く不知。</p> <p>①病院の跡地は、まともな不動産業者は絶対に買わない土地だ。公園か病院か火葬場しか用途は、ない。</p> <p>②此処に小学校を建てるのは論外だ！</p> <p>霊安室の上は何になる。河北は産業廃棄物の宝庫だ、朝鮮戦争前までは穴を掘って埋めていたり、桃園川本流に押し流していた。ドブ浚いのおっさんもここを避けていた。</p> <p>③土地の歴史は100年後、500年後も、未来永劫ついてまわる。</p> <p>立民の田中 f 良は、100億の総事業費に目が眩み、コンクリートのおいしさに、のめり込んだ。我々近隣の貧しい住民は、被害を受けるだけです。</p> <p>河北病院建設のため近隣住民は、道路を広げろ、高い建物は建てるな、敷地分割はするな、職業選択届けろと制限された。</p> <p>病院は地下室OK、高層ビルOK、騒音サイレンは鳴らしたい放題、ヘリポートはさすがに取りやめ、路線価・固都税評価額安いまま。</p> <p>岸本区長、このような金まみれの「今だけ」「金だけ」「自分だけ」の輩に鉄槌を下されんことを、お願い申し上げます。</p> |

| 番号 | 参加日 | ご意見・ご感想等 |
|----|--------|---|
| 1 | 10月19日 | 先ずは、全体計画として、錦糸町駅前、錦糸公園の様な、公園とすることを、ご提案致します。最初に、けやき屋敷を、撤去して、病院と、共同住宅(不整形地を、整形地に、する為に、収容する、土地の、地権者の為の、住宅)の、複合施設(タワー)を、建設する。次に、病院跡地に、杉一小を、移転する。そして、杉一小跡地に、アリーナ(大規模避難施設兼用)、を、建設する。新しい地域拠点として、室内競技場(観客席有り)を、設ける。最後に、けやき公園に、商工会、区民センター、児童館、等の、複合施設を、建設する。あくまで、阿佐ヶ谷の森を、意識して、、、日影、等に、関しては、スリムなタワーの方が、角度だけで、決まるので、有効である。以上が、弊社の、考える、阿佐ヶ谷北東地区再開発計画である。×××××××××××一級建築士事務所、代表取締役×××× |
| 2 | 10月19日 | 本フォームが1000字制限のため、区のHP「区長への手紙」に10/21 14:00に全文を投稿しましたので、一部はそちらを繋げてください。それでも書き切れていません。1000字は少ない。××××××××××××××××××××です。荒らすことになったのは申し訳ありませんが、「振り返る会」の名称のまま進めると対話集会にならない、本当にあのタイミングで言わなくてはならない、と思う気持ちは変わっていません。不規則発言だけではなく、前回開催前からしつこく言っています。「振り返る会」という名称は、主語が曖昧で、実態は、私たち区民は阿佐ヶ谷まちづくりにこれまで参画していないのだから、行政が決めたことを追従するという意味になってしまします。もちろん誤った「歴史」を反省的に振り返ればいいのですが、今の区のスタンスではそうなることはありません。区長は「対話も大事だが歴史も大事」とおっしゃいました。まず、区の方針としてトップに掲げている「対話」が優先であること。そして「歴史」は正負の面があり、誤ったことは現在・未来が正さねばなりません。今回の区長の司会？ファシリテーター？は、極めて不適切でした。まず、行政の側にいる方が進行するのは「説明会」のやり方です。区長は他の職員と一線を引いて、中立の立場に立つことができるとお考えかもしれませんが、開催中、そして終了後に参加者が(19,22日の位置づけについての発言をさせてもらえなかったことについて)抗議していたときの、区職員と一体となったスタンスを見ると、中立は不可能であるとわかります。そして討論の中で、区長が矢面に立たされる構図は、ますます区長と区民の分断を呼び、対話への道のりを遠ざけます。本当に責任のある、事業を決めた人たちが後(中略、以下は「区長への手紙」へ)開催以前から、何度も告知期間・規模が少ない、2回の位置づけが不明、説明を主張し対話の保証がない、などと指摘してきましたが、すべて悪い方に実現してしまっただけです。1.22日は区長ではない人が進行する 2.職員は発言時に毎回担当を明確にする 3.冒頭にまとめて説明、質疑もまとめて回答するのではなく、項目別の組み立てとする 4.今後に向けては、ジェンダー配慮した配置 5.「振り返る会」の名称を区民意見を取り入れて、変える 6.私の名称案は「阿佐ヶ谷まちづくりのための対話」です。以上。 |
| 3 | 10月22日 | 時間がなくお伝えできなかったのが追加のお願いと質問です。・次回振り返る会の開催日時の周知は、関係者全員に周知してください。特に保育園、幼稚園在園の方、移転先の周辺住民にはこの現状をしっかりと説明してください。それから振り返る会としてはなく、小学校在校生親、OBOGへの現状の説明も杉一小で行っていただくよう要望します。・周知方法も区報やHPに掲載ただけでは情報は届きません。現状区ではメルマガやFacebookもインスタもやっていないことから、情報が届くように工夫してください。・それから昨年的一年生の入学人数が半減しました。来年度の入学数は何人ですか？考えられる理由をお示しください。 |
| 4 | 10月22日 | 19日、22日両日に参加しました。ありがとうございました。皆様の熱心な議論を伺い、私なりの一つの結論に至りました。もともと阿佐ヶ谷原風景を守るまちづくり協議会に意見に共感していました。1.杉一小は現在地(A街区)での建替えとする。産業商工会館も同居。2.河北病院跡(C街区)は、防災公園とし、災害時の一時避難場所と緑の復活を目指す。加えて杉一小の運動場の機能も兼ねる。3.産業商工会館に加えて、周辺の商店会の事務所を移転し、協働と競合により、各商店会および全商店会の活性化(にぎわい)の原動力発信基地とする。4.その他1)杉一小の150年の伝統と×××の先祖の志を尊重し、この場所に杉一小を建てることで、次の150年へ向けた杉並区民の決意を表すものとする。2)C街区は、杉一小建替え中は仮校舎設置場所として利用する。3)杉一小の現役、OB・OGの意見を聞くことが表明されましたが、平成27年で中断している「杉一小改築、複合化検討懇談会」の第8回目の会議を開催し、おわびを伝え、新しい事態への意見を伺う機会として欲しい。4)行政の皆様、いろいろ障害や困難があると思うのですが、どうぞ知恵を下さい。また、こういうことになるが・・・を示してください。世田谷の行政マン・小柴直樹氏のつづやきをお送りします。「住民と行政、あるいは住民と住民の間で想像する将来像に違いがある場合に、行政としてどのような対応が可能なのだろうか。これまでの街づくりにおいては、異なる意見が平行線をたどる場合、行政は自らが示す将来像が適切な姿だと判断し、法的な手続きの中で反対意見を退けていった。住民説明会においていくら来場した方々の多くが反対しようとも、サイレント・マジョリティを味方にして推し進めていった。しかし、もう一度、住民と議論する場は創れないのだろうか。もう一度だけでも、今ここにたどりついているプロセスを見返せないものだろうか。将来を共有する手法はまだあるように思えてならない。」「人をつなぐ街を創る」より。 |

| | | |
|---|--------|--|
| 5 | 10月22日 | <p>説明会に参加させていただきました。××です。 杉並第一小学校や子供達の未来について、真剣に取り組んで下さっていて、岸本区長と職員の方々へまずはお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。説明会で得た感想は、騒音問題、汚染問題や水害対策の懸念はどんなに説明されても同意は難しいことだと感じました。希望はA街区小学校、C街区に××さんが望む産業会館の入った賑わいの町になるものを造れば良いのでは？と思いました。阿佐ヶ谷を大切に思っ下さっているのなら、理解もしてくれると思います。コンプレッして、何が出来たら××さんに喜んで頂けるか問うのも良いのではないのでしょうか。私はC街区になみすけプールが欲しいです。自由が丘のラ・ヴィータ（ベニス）みたいなお洒落な場所になるのも素敵ですね。椿山荘の庭園みたいになっても人は集まりそうですよね。いっぱい浮かんで来て、ワクワクします。子供達にも夢を描いて貰い、みなさんと街づくりしたらきっと楽しいし、良い案が出てくれそうですね。 B街区の工事を一旦ストップしてそこにプレハブを作り、A街区小学校の建て替えを先に進めて欲しいです。工事を止めることが出来ないならば、例えばですが、阿佐ヶ谷南口広場の京王、都営バス乗り場を工期の間すぎ丸くんのバス停とかに移して、そこに3、4年生用のプレハブ教室を造り（阿佐ヶ谷中学校建て替え時も凶工室だったか作りましたよね？）、1、2年生は区民センター、5、6年生は阿佐ヶ谷中学校に仮教室を作ってもらえば良いのではないかと思います。阿佐ヶ谷中学校建て替え時、『校庭なくてごめんね日帰り旅行』で、富士急ハイランド、東京ディズニーランドに行けたことは良い思い出になっています。 関東大震災から100年が経ちました。耐震の事を考えると河北の建替え後、土壌汚染洗浄に年月を費やしたりを待ってからは小学校の建替えは遅いと思います。 12年前の東日本大震災で、私達は目の当たりにしました。災害は私達の予想を遥かに越えてやって来る事を学んでいます。そして、一回の雨で街が水没してしまう時代に入ってしまった事を考えると、譲れないのです。 私達の大切な宝物である子供達第一で考えて下さい。先人達が選んだ土地を、そのまま未来に繋げるべきです。私達にはそれを守りぬく責務があります。 ご検討よろしくお願致します。</p> |
| 6 | 10月19日 | <p>当日、記入しましたが、お渡しそびれてしまいましたので こちらからお送りします。まずは 大変お疲れさまでした。前回は参加しておりませんが、流れは何いしました。今回の進め方は司会も区長で良く練られたと思えました。「対話」が可能な会に少しづつでもなっていく事を望みます。プレストのように異なった見方からの意見も出てこないといけないと思えました。次回は私もそちら側の意見や質問を用意して臨みたいと思えます。区長、職員の方々本当にお疲れさまです。よりよいまちづくりが出来ること本当に願っております。良い点、改善すべき点など建設的に議論を進めていくにはどうしたら良いか、偏った意見ばかりでは絶対にダメです。</p> |
| 7 | 10月22日 | <p>8/31の会参加後の意見シート（4頁目の3番）に一番に加筆するとしたら、職員の頑張り次第でこの地域は如何様にもできるということ。C街区への杉一全面移転が防災と教育に資するという区の説明は真逆であります。区は当初から杉一馬橋公園通り拡幅を口実にしているがC街区まで拡げて意味がないのでは。何度でも申しますが災害避難所を河川の有った所に移転する件を区外の人に話すと笑われます。区の幹部の人は小学児童の生態を判っているのですか？救急車と児童の騒ぎ声を同列に置くのはどうかしています。また、C街区は地形が悪い。こういう土地は有効活用できないので本来、手を出してはいけません。高い建物は好ましくないのですが、地主さんの損失を考慮するとA街区の3割に杉一拠点を置き、残り7割を地主さんの利益になる様に使うしかないでしょう。</p> |
| 8 | 10月19日 | <p>8/31、10/19、10/22の会のいずれでも発言の機会をいただきました杉一小児童保護者です。行政と区民、区民と区民の分断や対立の溝を信頼で埋め、この問題を多くの人が納得するよりよい解決となるよう。また「対話の区政」が前進することを、心より願っています。会ではどうしても発言の時間が限られており、また細かな点をお聞きできなかったのも、すみませんが、追加質問や要望を記させていただきます。宜しくご回答、ご検討ください。（分量が多く3Pに渡っています） ? ■資料P4：平成28年11月22日区議会(全員協議会)に報告 →なぜか区のHP上で議事録が見当たらない。該当部分を示して欲しい。 ? ■資料 P4：P5：○専門家を交えた実務者検討会 ○杉並第一小学校改築・複合化検討部会 ○杉並第一小学校改築・複合化作業部会。 →それぞれどういう主旨の会で、その構成メンバーを教えてください。また議事録を公開して欲しい。議事録がなければ会の概要でも。 ? ■資料 P7：平成28年10月28日の意見交換(参加者20名) →この部分の説明で「全員に連絡」とあったが、連絡を受けていないとする懇談会委員が複数いる。「個別に電話で連絡」とあり、連絡有無が明確にならない以上、「全員に」と強調するのは適当ではない。また、この会の出席者、及び会の議事録のようなものを公開して欲しい。（配布資料等は既に区議の開示請求により閲覧済） ? ■資料 P11：屋上校庭案についての説明。 →屋上校庭に関しては、もちろん当初は不安や疑念の声も多かったが、第7回の改築検討懇談会の議事録を読む限り、委員達が千代田区、中央区の事例を見学したことにより、その印象がだいぶ変わり、結果、肯定的な発言が多くなったように読み取れる。議長もそういううまとめをしており、同席の区の職員も、屋上校庭案を区に持ち帰り検討する旨を述べている。にもかかわらず、まるで屋上校庭案に懸念や反対の方が多かったように説明するのは適当ではない。訂正して以降は正しく伝えて欲しい。（2P目へ続く）</p> |
| 9 | 10月19日 | <p><2P目> ■資料 P12：教育環境 →①校庭が少し広くなること。②地上校庭となること。③仮校舎、及びその期間が不要なこと。以外に教育環境の改善と呼べる要素はないか？もちろん個々の要素がいいのは当然。だが、全体として得るものと失うものを比較したらどうか？ 移転により、この場所であってこそその杉一小の個性、148年かけて作り上げてきた地域との信頼関係。地域の方々のご理解とご協力によって支えられた杉一小独自の教育プログラム等、杉一小の教育風土が失われる懸念がある。また、駅近だから共働きの両親が出退勤途中に送迎が可能だった利便性が損なわれる等、児童数減少傾向の中、立地利便性を失い、クラス数はもちろん学校の存続さえ不安視する声も多い。区の説明では、場所が少し移ったからといって失われるものではないとするが、今ある杉一小の価値の構成要素の何が残って何か残らなくなるのか、きちんと検証し説明して欲しい。これには学校関係者からの情報や意見が必要と思われるので、教職員や学校支援本部、PTA、一般保護者等、幅広く情報収集や意見聴取をして欲しい。ディスカッションも必要。私は何の役職も立場もないただの一保護者だが、出来る協力は惜しまない。 ? 併せて同じく住宅地に隣接した形で移転を経験した荻窪小学校にも近隣住民との状況を聴取して欲しい。但し、荻窪小学校の移転は平成21年(2009年)で、移転当時は近隣住民からの騒音クレームが多く、学校・保護者・児童らの対応負担が大きかったと聞くが、14年を経て多少の改善は予想できる。移転当時の校長先生に当時の事情を聞いて欲しい。 ? (3P目へ続く)</p> |

| | | |
|----|--------|---|
| 10 | 10月19日 | <p><3P目> ■P13: 2億円程度の借地料 →換地の場合、所有権は移転しないとあるのに、なぜ借地料が発生するのか?その仕組みを教えて欲しい。また、現計画では区の持分が1/3とあり、仮にここに新たに建設する建物の中で小学校機能等、区の施設が建物の1/3以内であれば、借地料は発生しないはず。小学校の移転に反対している人の中には、全ての計画の白紙撤回を求めておらず、小学校の複合化を認めている人もいる。そこはそういう借地料が発生しない場合のことも併せて説明して欲しい。 ■P14: 土壌汚染調査 →病院立ち退き後の土壌汚染調査の事業主体はどこか?土壌汚染があった場合の土壌汚染対策費用は病院側が負担するとされているが、調査の費用は区or病院どちらの負担か? ■P17: 換地の公平性 →換地評価情報の公開に向け検討しているとのこと、それは是非公開して欲しい。この点は区民のこの事業に対する不信感の大きな要素の一つであり、公平性を説明することは事態の前進につながる。逆にこの点の疑惑が残ると泥沼状態になりかねない。最大細心の意識を持って取り組んで欲しい。また、区はこの評価を、単に第三者の専門家が入ったから公正だという雑な話ではなく、どのような具体的検証を行うことで公正と判断したのか、その点を詳しく説明して欲しい。質問等は以上です。杉一小保護者有志として、この問題についての要望書を作成済み。要望書を出したら、是非検討ください。また、出来れば個別に区長はじめ区の関係部署の方と少人数(公開可)での意見交換の機会を希望しています。以上。</p> |
| 11 | 10月19日 | <p>これは反対の方のための会なのですか?そもそも、この会は何のための会なのかわかりませんでした。区の方の説明を聞いて、それに対して異議を唱えたところで、どうなるのかがわかりません。結局、杉一小を移転するのかわからないのか、そこが決まっているなら、決まったことなので変えられません、とはっきり言えば済むことではありませんか。移転しない選択を取ることも区は考えているなら、異議の声をもっと真摯に受け止めるべきですが、そのようにも感じられませんでした。これ以上、何をやっても同じ話の繰り返しですよね。早く、どちらか決めて、前に進めてください。これのどこが対話ですか?所詮、反対者に一方的に発言させてるだけで、区長からは、明確な考えはないのか、抽象的な答えばかりで具体性がなく、非常に残念でした。</p> |
| 12 | 10月22日 | <p>長い時間ありがとうございました。厳しい声もたくさん入っていると思いますが職員の方々が自分の言葉で区民の我々と話をしてくれている姿には希望を感じました。学校は移動しない方が良いと思います。</p> |
| 13 | 10月19日 | <p>何回も開催して下さいね</p> |
| 14 | 10月19日 | <p>一区民として非常に胸の痛む会合でした。2019年に開かれた当該区に対する公聴会にも参加しましたが、杉一小の体育館には計画反対の住民が埋め尽くし、計画に推進的発言に対してはヤジが飛び、抽選で選ばれた方の反対意見には満場の拍手という異常な雰囲気でした。しかし意見は言うだけで、区からの回答や発言は一切なく、この「公聴会」は意味はあるのだろうか疑問に思った記憶があります。昨年岸本さんが区長になられ、区民との対話を尊重し、情報公開を積極的に進めている今の区政には非常に期待しておりますが、残念に感じたのは未だ区民そのものに「対話」の姿勢がとれていないことです。今回の地区計画や小学校改築に関しての進め方は確かに問題があったと思いますし、どこが問題だったのかを丁寧に検証することは重要だと思います。しかしながら、会合での反対意見を述べる区民の良識を逸脱した態度は残念です。行政側が「聴く」姿勢で対話を促そうとしているにも関わらず、区役所の職員に対して暴言ともいえる発言を連発するのは如何なものかと思えます。これは一つのハラスメントであり、許されることではありません。これでは、対話集会は成り立ちません。異議があったとしても、感情的にならずに理性的な話し合いをすべきで、野次を飛ばすような品位のない態度は改めるべきです。また、ケヤキ屋敷の屋敷林伐採に多くの発言があった2019年の頃と違い、論点が杉並第一小学校の移転改築へと移っているようですが、歴史ある杉一への思いなど多くの大切な住民意見が述べられたことは貴重な機会であったと思う反面、複雑な地区計画などの全貌を区民が十分理解するほどには説明がされていないことや、地権者の思いも伝わっていないことが課題として残っていると思えました。今後は(大きな声で)要求する区民と行政という構図ではなく、区民どうしがともに話し合い、行政はパートナーとなるような良い関係性を作り上げたいものです。建築の仕事をしている立場から申し上げますと、計画案は多様なものが考えられ、現在の状況で「これがベスト」と断言できないということと、いくつ案を考えても必ずメリットデメリットはあることはお伝えしたいと思えます。</p> |
| 15 | 10月22日 | <p>杉並第一小学校移転の根拠が、役所側の説明を受けても納得できません。病院跡地の危険性に関しては、今すぐにも検査をすべきです。低地であるため、様々な弊害があります。病院跡地の日照時間も明確化されていません。そもそも、三者での区画整理の経過がわかりません。区長が以前おっしゃっていたように、徹底した情報開示を求めます。</p> |
| 16 | 10月22日 | <p>●8月31日にも伺いました。この時も土壌汚染と閉院について意見を述べた方がおりましたが、特にその後詳細などの報告はなく、前回とおなじ回答。その方は5年もかかったと言っておりましたが、そんなにかかるのであれば、河北ほどの大きい病院ならもっとかかるのではないのでしょうか。建て替えができるまでに時間がかかりますよね。調べたりはしていないのですか。土壌汚染があるかどうかもわからないという発言にはびっくりでしたが、安心だということでしたら、具体的に他の病院などの事例を紹介してください。●小学校の騒音についても「お願いする」というレベルの回答ではまずいのではないのでしょうか。近隣の方々に説明をされると思いますが、今のイメージ写真ではなく、盛り土をし、さらに防音壁などを施した具体的な模型を作り、(町の高低差がわかる模型)尚且つ学校の反対側の低い土地も示してこんな形になるというものを示してお伺いしてください。(かなり分断される感じかと思いますが、)そして、学校の近隣の方々にこれぐらいの音が出ますよ、いかがですかと伺う必要があると思えます。イメージだけ頭だけでの説明ではなく具体的なものを提示してください。全体的に言えることですが、目に見えて比較できる数字や具体的なものを提示してください。そうでないといつまでたっても堂々巡りだと思います。</p> |

| | | |
|----|--------|--|
| 17 | 10月22日 | 22日の会について感じたことですが、区側の答弁からは基本的に反対住民をなんとか説得しようとする姿勢を全面的に受けました。また、住民側の声も概念的なものが長かったりしたこともあり、この形ではなかなか話が進まないと感じました。住民から出てる課題、懸念に対してもっと具体的なやり取りができる状況が必要だと思います。区はもっと具体的な数値を出して欲しいです。例えば学校が建った状態を見える化して校庭の広さや日照の具合がわかるように、また、そういったものを見せつつ騒音状況がどうなるのかとか、C地区周りの住民への細かな聞き取りをしたものなど必要かと思えます。また、仮に第二桃園川幹線が水害対策の一つとしてよしたした場合、その完成は具体的にいつになるのか、令和6年以降ではわかりません。そういう課題、懸念についての具体的なものを出した上で、一つ一つ話し合っていくしかないんじゃないでしょうか。 |
| 18 | 10月19日 | (2日とも参加) ① 続きの会の開催は、「対話で進める区政」の前進。区の努力に感謝する。区民としては、区と対話し切磋琢磨しながら区政を進めていけるよう、今後も参加していきたい。② 今回は、「続きの会」だったので仕方ないが、「阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりを振り返る会」という名称は、次からは変えてほしい。誰が何を「振り返る」のか?の間に、区は答えていない。「阿佐ヶ谷駅北東地区」という呼称は、もともと一部の地権者等有力者の私的集まりから生まれたもの。全ての区民に対して平等であるべき行政が、これまでは一部の有力者の利益のために動いてきた。区民は置きざり。区が今後もこれ続けるのであれば、区民が参加し、対話で区政を進めるのは困難。これを改めてほしい。③ 告知期間が短すぎる。広報が足りなすぎる。新区政に期待する関心の高い区民へ、負担を押し付けすぎで、行政の責任を果たしていない。次回は改めてほしい。④ 会の進め方について、区民からの意見を取り入れてほしい。区民が期待しているのは、「区からの説明」「質問に答える」ではなく、8月31日で明らかになった乖離を踏まえた上での「対話」「話し合い」だった。これを進めるには、事前の準備に、区民が参加したい。会場の作り方、配布資料の準備、司会の立て方、議題の設定、進行や話し合いの仕方、…区民の意見を反映できるやり方に変えてほしい。区民は受け身の存在ではなく、主人公であるはず。⑤ 区は、杉一小移転改築案(いわゆるB案)の決定過程に、住民への説明が不足していたことを認めている。決定過程に問題があったのだから、B案ありきで進めることをやめてほしい。⑥ 新区政では「情報開示」をうたっているが、阿佐ヶ谷問題では情報が開示されていないのは大問題。区は「地権者個人」の情報を含むので開示できないと説明したが、これは東京地裁の判決や区議会での論議をないがしろにした虚偽説明。誤りを認め、訂正してほしい。まずは、情報開示を一刻も早く。開示されなくては、区と区民が一緒になった話し合いは進まない。⑦ 本来、杉一小の改築は、樺屋敷と河北病院との土地交換とは別のもの。「まちのにぎわい」のために杉一小が犠牲になるなどあり得ない。杉一小の教育を守るのが第一。現地建て替え案を具体的に検討してほしい。次回は、杉一小で、保護者や児童、地域住民が参加しやすい形で開催を。 |
| 19 | 10月19日 | 緑を守る杉並区の基本方針に反して、阿佐ヶ谷地域の大きな魅力であったけやき林の大半が伐採されたことで、この辺りの空気浄化力が大幅に低下したと思う。河北病院の跡地は、緑の多い公園を作るべきである。そもそも河北病院の移転工事が始まったばかりの現時点で、「まちづくりを振り返る会」という名称(趣旨)が間違っている。「まちづくりを再度考え直す会」とすべきである。杉並区の方針?なのか、小学校が駅前にある現状よりも、駅前には商業ビル等として、商店街の新たな賑わいを創出 すべきという考えは、バブル時代的で時代錯誤の過剰開発 だと思う。現在の阿佐ヶ谷の賑わいで十分阿佐ヶ谷らしい 街並みであり、これ以上の商業施設は要らない。現在始まっている河北病院のけやき屋敷跡地への移転は、このまま進めることとして、やむを得ないと思うが、杉一小学校の河北病院跡地への移転は、土壌汚染問題や騒音問題などを考えると、絶対に取りやめるべきである。仮設校舎を、新総合病院の空地に一時的に作るなどして、多少時間がかかっても、杉一小学校は現在の場所にて 建て替えるべきである。プールを地下にした体育館を建てるなどすれば、校庭を 広げる事もできると思われる。事業の一部中止と、計画の見直しをされたい。 |
| 20 | 10月22日 | やはり話し合いが足りずに話がどんどん進められていると振り返る会に参加して改めて感じました。区の方はなにかと賛成を経てと書面に記載していますが、始まりは小学校を建て替えるのに仮校舎として現在の病院移転場所が挙げられていたはずでした。いつの間にか老朽化して危ないはずの小学校よりも河北病院が建て替えてその跡地に小学校が建てられるという間近に住んでいる私達には理解し難い話でした。終の住処になるはずの住宅街に小学校が建てられるのは正直、暮らしづらく迷惑です。学校は学んだり遊んだりするところですから声がうるさくて当然。それを苦情の対象にいずれしてしまうのは可哀想なことだと思います。ただ、間近に暮らしている住人には騒音でしかないのです。そういう声にはきっちり対処していただきたいです。対応も個々にしっかり連絡を取ってもらいたいです。説明会で必ず意見が出ていますが、河北病院跡地に小学校を建てた場合、この地域は地盤がとてもゆるく多少の地震でもかなり揺れます。災害級の大雨が降って避難場所になっていても、各自自宅に居るとたいして変わらないと思います。現在の場所から低い場所への移転は本当に意味があるのか納得できる説明がきちんとほしいです。これからの説明会は限られた一部の参加者ではなく阿佐ヶ谷全体の人達が広く参加できるものにしたほうが良いと思います。 |
| 21 | 10月22日 | 区長が変わり、少しずつですが変化を実感しています。今回のような意見を言い合える場が設けられたことも変化ですね。区長も言っていたようにみんなで同じテーブルにつき、最善の策を考えていきましょう。そのためにも、住民、区長、役所職員みんなでしっかり話し合い、決めていきましょう。今回いただいた資料をじっくり読み、小学校の移転の明確な理由がないこと、何より子どもたちのことを考えて移転が計画されたわけではないことがわかりました。子どもの安全が1番です。いろいろ困難はあるかもしれませんが、話し合いを重ねることで理解を深め、みんなでしっかり合意形成を積み重ねていきましょう。今回の会では、子どもを連れていたため会場に入れず意見を言うことができませんでした。次回はどなたかに順番をとってもらってもいいでしょうか。子どもが騒ぐことが心配だったので、子連れで会場の中にいるよりも会場の外から話しを聞いたほうが過ごしやすかったです。次回も中には入らず、廊下でお話しを聞くとと思うので、お手数ですが今回と同様に入り口付近に椅子とテーブルの用意をお願いいたします。以前に別の施設再編の説明会のときも子連れの方を見ました。子連れでも参加しやすい環境が整ってほしいです。 |